

## 8. 地域との連携

鳴瀬川は、大崎平野を潤し、地域に恵みを与え、経済・文化を支えるとともに地域の生活とも密接につながってきた。さらに近年、街づくりの中で河川空間は、水と緑のうらおいの場とともに地域交流の拠点など様々な役割が求められている。

河川整備にあたっては、沿川自治体の街づくりに対する川の位置付けを明確にし、計画と有機的な連携を図る取り組みを進めている。また、計画の策定に際しては、地域住民の意見を十分に把握するとともに、流域市町村の各種計画等と連携を図るよう、留意している。

### 8-1. 河川に関する学習の場の提供

水辺プラザ、水辺の楽校など水辺拠点の整備を行い、地域の人々や子供たちが川に直接触れる機会をつくり、体験することで自然に人にやさしく接する心を培う総合学習の場としての整備を進めている。

### 8-2. 交流活動

国土交通省では、地域の魅力と活力を引き出した交流活動を推進するため、パンフレットやインターネットのホームページ等により河川に関する情報を幅広く地域に提供するとともに、地域からの河川整備に関する要望等の集約を図り、情報交換の促進を図っている。